

編集後記

2019年5月9日～12日、パシフィコ横浜において第92回日本整形外科学会学術総会（JOA2019）を開催させていただきました。天候にも恵まれ、1万700人を超える多くの参加者を得て盛会に終えることができました。ご参加、ご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

わが国における整形外科医療の先進性と社会への貢献を広くアピールすることを意図して、学会のメインテーマを「整形外科の元気は、日本の元気。」としました。実際に、学会会場での討論はもちろんのこと、全員懇親会での盛り上がり、親善スポーツ大会での熱戦などを通して、日本の整形外科医が文字通り「元気」であることを示していただきました。

一方、学会のサブテーマとして「異分野コミュニケーションからオープンイノベーションへ」を掲げ、「宇宙医学」「TOKYO2020」「医工連携」「舞台医学」など多様なテーマに関して、医学以外の専門家を含めたシンポジウムを企画しました。中でもシンポジウム「整形外科を国民はどう見ているか？ ロコモ啓発とメディア」では、テレビ・雑誌などメディア関係者や作家などのシンポジストを交え、きわめて興味深い議論が交わされました。「ロコモ認知度向上」に関しては、「国民が本当に知りたいことが、うまく伝えられていない」「ロコモ・フレイル・サルコペニアは、医者縄張り争いのように見える」などとやや耳の痛い指摘もありました。さらにフロアの山内裕雄先生から「整

形外科の名称変更の要否」について問題提起があり、シンポジストからは「実際の診療内容がわかりにくいので名称変更すべき」「老舗で名前を変えて繁盛した店はない」などと意見が分かれました。結局、「良い名前があれば変えた方が良いが、今のところ良い名称がない」という落としどころとなりました。これらの問題については、整形外科医だけで議論していてもダメで、外部の声、特に一般市民の声を積極的に取り入れ、真摯に耳を傾けることが必要であることを再認識しました。

今月号の特集は、芳賀信彦先生のご企画による「リハビリテーション医学・医療の最前線」です。整形外科医療におけるリハビリテーションの重要性は、論を俟たないところですが、近年、再生医療、ロボット工学、パラスポーツなどとの関連において、リハビリテーションの在り方や役割にも大きな変革が起きています。本特集から、わが国におけるリハビリテーション医療の今を読み取っていただければ幸いです。

JOA2019で特別講演をしていただいた山下泰裕先生が、日本オリンピック委員会（JOC）の会長に就任されました。TOKYO2020まであと1年、JOCの五輪招致問題、水泳・体操選手などの成績不振など問題は山積していますが、ご講演で強調されていたフェアプレー・自他共栄の精神で、さわやかな感動あふれる東京大会を実現していただけるものと確信しています。

（山下敏彦）

「整形・災害外科」第62巻 第9号（8月号） 2019年8月1日発行（毎月1回1日発行） 定価（本体2,500円＋税） 年間購読料金 定価（本体39,400円＋税） 〔年間13冊（臨時増刊号、増大号を含む）の誌代〕 〔年間予約購読者に限り送料無料〕	発行所 金原出版株式会社 発行者 福村直樹 〒113-0034 東京都文京区湯島2-31-14 TEL 03 (3811) 7165〔編集室直通〕 TEL 03 (3811) 7184〔営業部直通〕 FAX 03 (3813) 0288 http://www.kanehara-shuppan.co.jp 振替口座 00130-1-191269 印刷所 三報社印刷株式会社 広告申込先 日本医学広告社 TEL 03 (5226) 2791
--	---

・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権（送信可能化権を含む）、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著作者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

・**JCOPY**＜出版者著作権管理機構 委託出版物＞

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（電話 03-5244-5088、FAX 03-5244-5089、e-mail: info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。